

クラウドネイティブ時代の認証基盤サービス

Okta[®]
オクタ

各種クラウドサービスの利用へ向け、最適なID管理と安全・便利なアクセス制御を実現

アプリケーションサービスのクラウド化が進む中、ID/パスワードがインターネット上に拡散し、ユーザーによるパスワードの使い回しが問題になっています。一方でセキュリティ対策が脆弱なサイトではID/パスワードの流出が相次いでいます。そのため、クラウドサービス事業者の多くが、サービス側にパスワードを持たない最新の認証としてSAMLもしくはOpenID Connectに対応しはじめています。この最新の認証を利用するために認証専用の基盤としてIDプロバイダーが必要になります。Oktaはその認証基盤を提供するIDaaSの専門サービスです。

クラウドネイティブ時代の課題

クラウドサービスの増加でユーザーのパスワードがインターネット上に乱立

世界中から利用できるため、ID/パスワード認証ではなりすましによる不正アクセスが心配

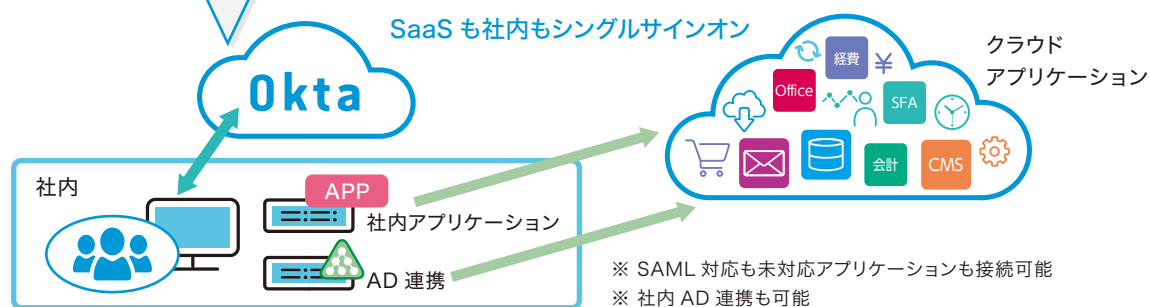
グローバルで共通のセキュリティ環境を構築したい

モバイル PC やスマートデバイスでも安全に業務アプリケーションを利用したい

グループ企業や取引先企業とのコラボレーション環境を作りたい

退職者が不正にアカウントを利用しないよう管理したい

Okta を活用すれば、シングルサインオン (SSO)、多要素認証 (MFA)、ID ライフサイクル管理 (LCM) 機能をクラウドで利用でき、クラウドネイティブ時代のさまざまな課題を解決できます。



特徴

柔軟なシングルサインオン機能でパスワード問題を解消

- セキュリティー強度が高い最新の認証であるSAMLやOpenID Connectに対応
- ID/パスワードの代行入力方式にも対応
- あらかじめ用意されたシングルサインオンが利用可能なサイトが5,500以上

クラウドで多企業間のユーザー管理を最適化

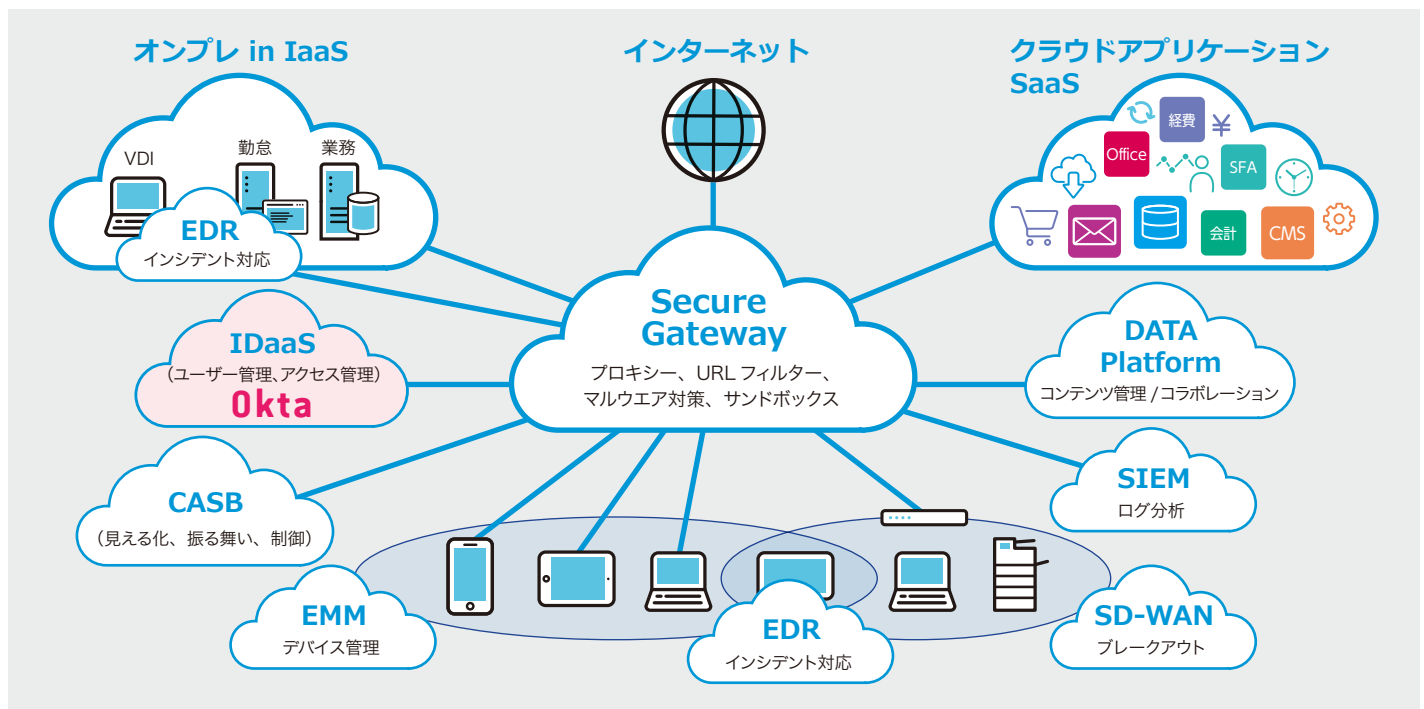
- Oktaクラウドサービス内にユーザー情報を格納するため、異なる企業のユーザーでもまとめて管理が可能
- Okta AD Agentにより容易にオンプレミスのActive Directoryと同期が可能
アウトバウンド通信のみでユーザー情報の同期やパスワード認証が可能のため導入が非常に簡単

強力な本人認証機能

- スマートデバイスへの通知を行う2経路認証や指紋認証が利用可能
- Windows Helloにも対応
- 利用できるデバイスを制限することも可能
- ユーザー環境などを考慮したコンテキストベースの認証にも対応

Why ユニアドックス?

ユニアドックスは、クラウドファースト時代のセキュリティー課題を包括的に解決する「クラウドセキュリティープラットフォーム」の実現を進めています。モバイルアクセス環境においてOkta (IDaaS)をZscaler (Secure Gateway)やVMware Workspace ONE (EMM)と認証連携させる提案・設計やMcAfee MVISION Cloud (CASB)のデータセキュリティーの認証として組み合わせたご提案も可能です。



ユニアドックス株式会社 UNIADDEX, Ltd.

東京都江東区豊洲1-1-1 〒135-8560
TEL 03-5546-4900 (大代表)
URL <https://www.uniadex.co.jp/>

Headquarters: 1-1-1 Toyosu, Koto-ku, Tokyo 135-8560, Japan
Telephone: +81(3)5546-4900
URL: <https://www.uniadex.co.jp/>

Copyright© 2019 UNIADDEX, Ltd. All rights reserved.

関西支店 TEL06-7178-0211	中部支店 TEL052-204-6850	九州支店 TEL092-473-3003
北海道営業所 TEL011-558-1900	東北営業所 TEL022-261-9217	新潟営業所 TEL025-247-7600
首都圏営業所 TEL048-642-5950	静岡営業所 TEL054-272-4722	長野営業所 TEL026-238-7502
北陸営業所 TEL076-233-9850	中国営業所 TEL082-242-5088	四国営業所 TEL087-821-1511

※記載の会社名・商品名は、各社の登録商標または商標です。
※記載の内容は、予告なく変更することがあります。